

第6章 各島実施報告

第8節 座間味島

第1項 取り組み概要

新しい体験プログラムをブラッシュアップする為、人気のホエールウォッチングで集客をし、ホエールウォッチングとセットで、今まで実施した事のない体験プログラム組み合わせるツアーを造成した。また、事業内で集落散策を商品化する為に、外部講師を招き、エコガイド講習会を実施した。

第2項 造成ツアー一覧

1. ダイナミックなホエールウォッチングと筆で書くちゅら季語のカレンダー作り 2日間
2. ダイナミックなホエールウォッチングと墨で書くオリジナルトートバッグ作り 2日間
3. ダイナミックなホエールウォッチングと墨で書くオリジナルトートバッグ作り
4. 島野菜で作って、食べて、デトックス！ 心身ともにパワーチャージ♪リトリート！
5. ホエールウォッチング協会元事務局長とクジラ探しと、クジラ見物！クジラ三昧の

第3項 実施ツアー一覧

<参加者合計 15名>

ツアー名	出発日	曜日	泊数	宿泊形態	定員	参加者
ダイナミックなホエールウォッチングと筆で書くちゅら季語のカレンダー作り	1月18日	土	1泊2日	民宿	8	7
ダイナミックなホエールウォッチングと墨で書くオリジナルトートバッグ作り	2月29日	土	1泊2日	民宿	8	8

第6章 各島実施報告

第4項 実施ツアー概要

(1) ダイナミックなホエールウォッチングと筆で書くちゅら季語のカレンダー作り

■ ツアー紹介文

冬の座間味はホエールウォッチングのベストシーズン！ザトウクジラの生体、座間味村とザトウクジラの関わり歴史など、乗船前にホエールウォッチング協会員によるブリーフィングで基礎知識をしっかりと学び、島あっちいツアーのチャーター船で大海原へGO！！経験豊かなガイド（船長）が安全にご案内します。展望台からベテランスタッフがクジラを探しボートを誘導し、高い遭遇率（なんと97%以上！）を実現。ちゅら季語に触れながら、敷居の高い書道を身近に、カレンダー作り！字を書く機会も減ってきた昨今、字を書く喜び、字をデザインする楽しさを体験しませんか。先生がお一人おひとりの字の特徴やその方の雰囲気を見極めてご指導いたします。書き上がったものは宝物になるはず、自分へのご褒美、大切な人へのプレゼントにも！また、字が書きたい！と思える体験です。

日程	交通機関	現地時間	スケジュール
1日目	フェリー	9:20	とまりんターミナルビル1階 旅行会社専用カウンター ※乗船手続・事業内容説明等
		10:00	那覇泊港 出港
		12:00	座間味港 到着 島コーディネーターがお出迎え、オリエンテーション 場所:ターミナル内
		12:45	昼食（座間味地区で各自お済ませください）
		13:40	港に集合後、宿泊施設へ移動・チェックイン
		14:30	【体験】カレンダーを作ろう！ 場所:やどかり
		18:30	宿にてご夕食
		19:30	交流会 【宿泊】民宿 やどかり
2日目	フェリー	7:30	宿にてご朝食
		8:30	チェックアウト
		9:00	【体験】ホエールウォッチング
		11:30	昼食（座間味地区で各自お済ませください）
		12:30	港ターミナル集合 振り返りミーティング・アンケート記入 場所:ターミナル内
		14:00	座間味港 出港
		16:00	那覇泊港 到着・解散 ～またの来島をお待ちしています～

■ 成果

初めての試みとなる、筆で書くカレンダー作り体験を実施する事が出来た。ホエールウォッチングをメインで参加したお客様が多い中、筆で書くカレンダー作り体験の講師の指導や、作ったカレンダーの仕上がりに参加者の満足度が高かった。

■ 課題

カレンダー作り体験を実施した会場が小さく、窮屈に感じていたと参加者から意見があった。また、墨で洋服が汚れる可能性があるという事前アナウンスをしてほしかった、という意見もあったため改善していく。

第6章 各島実施報告

(2) ダイナミックなホエールウォッチングと墨で書くオリジナルトートバッグ作り

■ ツアー紹介文

冬の座間味はホエールウォッチングのベストシーズン！ザトウクジラの生体、座間味村とザトウクジラの関わりの歴史など、乗船前にホエールウォッチング協会員によるブリーフィングで基礎知識をしっかりと学び、島あっちツアーのチャーター船で大海原へGO！！経験豊かなガイド（船長）が安全にご案内します。展望台からベテランスタッフがクジラを探しボートを誘導し、高い遭遇率（97%以上！）を実現。敷居の高い書道を身近に、エコな生活の必需品トートバッグに自分の思いを書いてオリジナルトートバッグ作りをしよう！先生がお一人おひとりの字の特徴やその方の雰囲気を見極めてご指導いたします。書き上がったものは宝物になるはず、自分へのご褒美、大切な人へのプレゼントにも！また、字が書きたい！と思える体験です。

日程	交通機関	現地時間	スケジュール
1日目	フェリー	9:20	とまりんターミナルビル1階 旅行会社専用カウンター ※乗船手続・事業内容説明等
		10:00	那覇泊港 出港
		12:00	座間味港 到着
			島コーディネーターがお出迎え、オリエンテーション 場所：ターミナル内
		12:45	宿へ移動・チェックイン 昼食（座間味地区で各自お済ませください）
		14:00	【体験】オリジナルトートバッグを作ろう！ 場所：ぶるーまりん 敷居の高い書道を身近に！世界に一つだけのトートバッグでのお出かけは、楽しさも倍増♪
		18:30	宿にてご夕食 ～交流会～ 場所：ぶるーまりん 講師の方々や宿のスタッフと座間味の話でお楽しみください！【宿泊】民宿 ぶるーまりん
2日目	フェリー	7:30	宿にてご朝食
		8:30	チェックアウト
		9:00	【体験】ホエールウォッチング 豪華なザトウクジラのパフォーマンスを見ることができたら超ラッキー♪
		11:30	昼食（座間味地区で各自お済ませください）
		12:30	港ターミナル集合 振り返りミーティング（アンケートの記入をお願いいたします） 場所：ターミナル内
		14:00	座間味港 出港
		16:00	那覇泊港 到着・解散 ～またの来島をお待ちしています～

■ 成果

オリジナルトートバッグ作り体験では、前回実施したツアーの中で参加者からの意見であった、「墨で服が汚れる可能性がある事」を旅しおりに記載し、参加者に事前に告知する事を徹底することができた。

■ 課題

天候の関係で、2つの体験プログラムを入れ替えた事により、1日目に予定していたオリジナルトートバッグ作り体験を2日目に実施した。その結果、体験プログラムで作成したトートバッグの墨が、参加者が帰る時間までに乾かなかった。行程を入れ替えた事は最善の対応だったが、持ち帰り方法などを検討する必要がある。

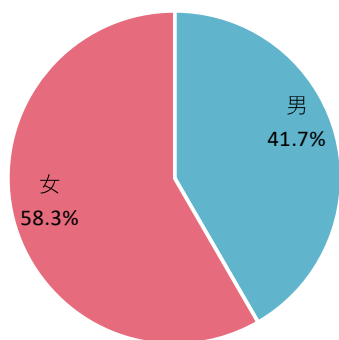
第6章 各島実施報告

第5項 アンケート結果

(1) 参加者について

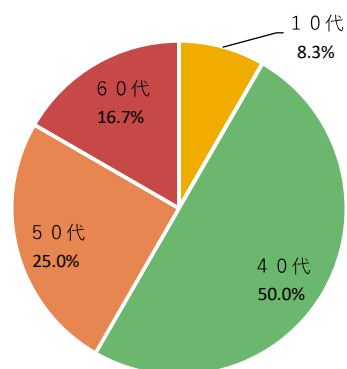
サンプル数： 12

①性別



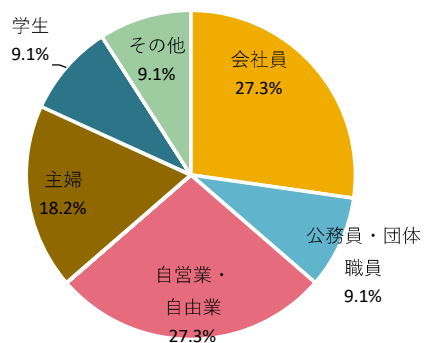
N= 12

②年代



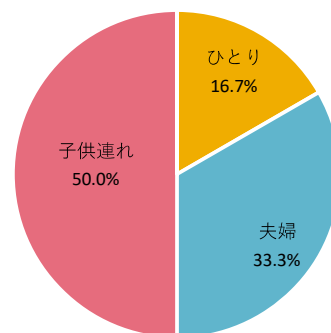
N= 12

③職業



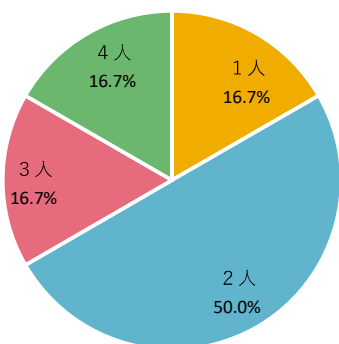
N= 11

④同行者



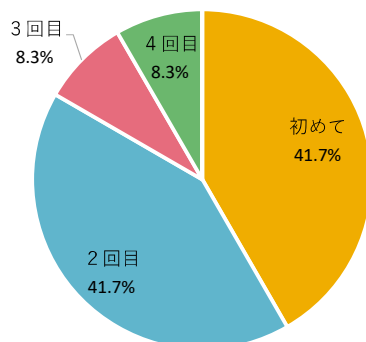
N= 12

⑤参加人数



N= 12

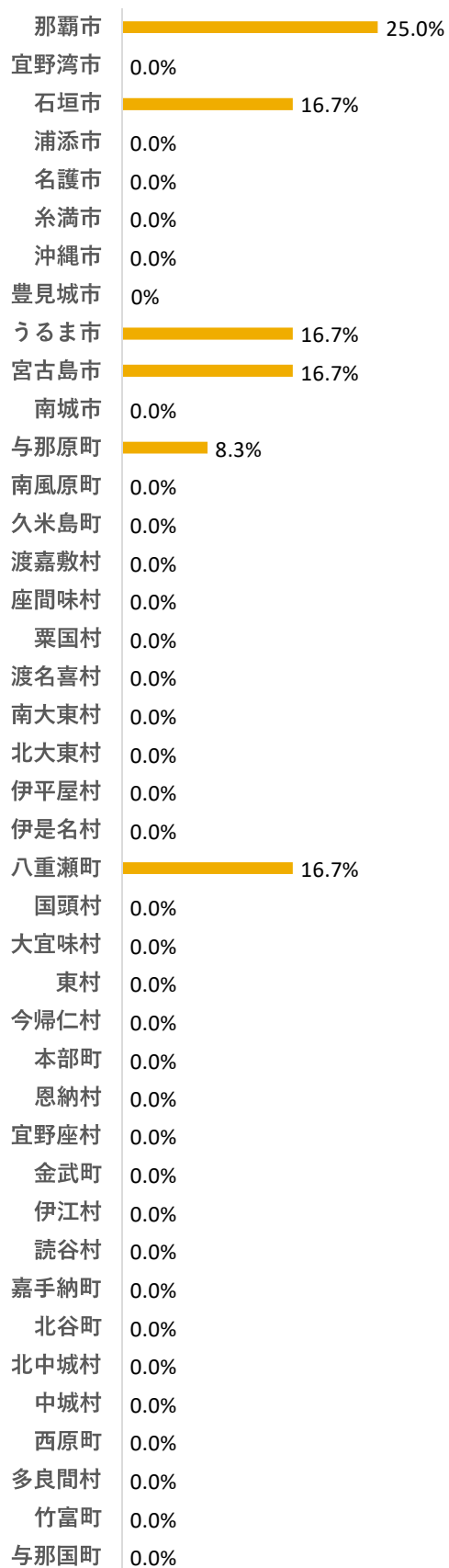
⑥この島への今回を含めた訪問回数



N= 12

第6章 各島実施報告

⑦住所

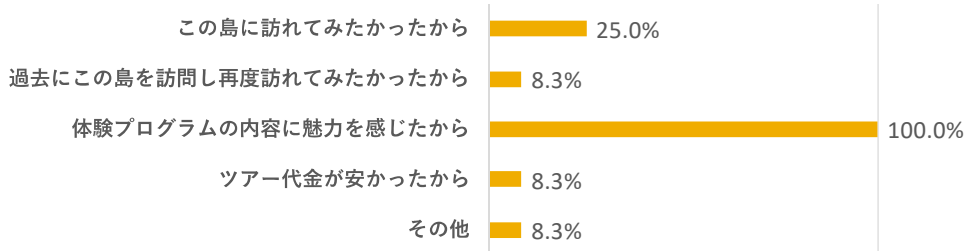


N= 12

第6章 各島実施報告

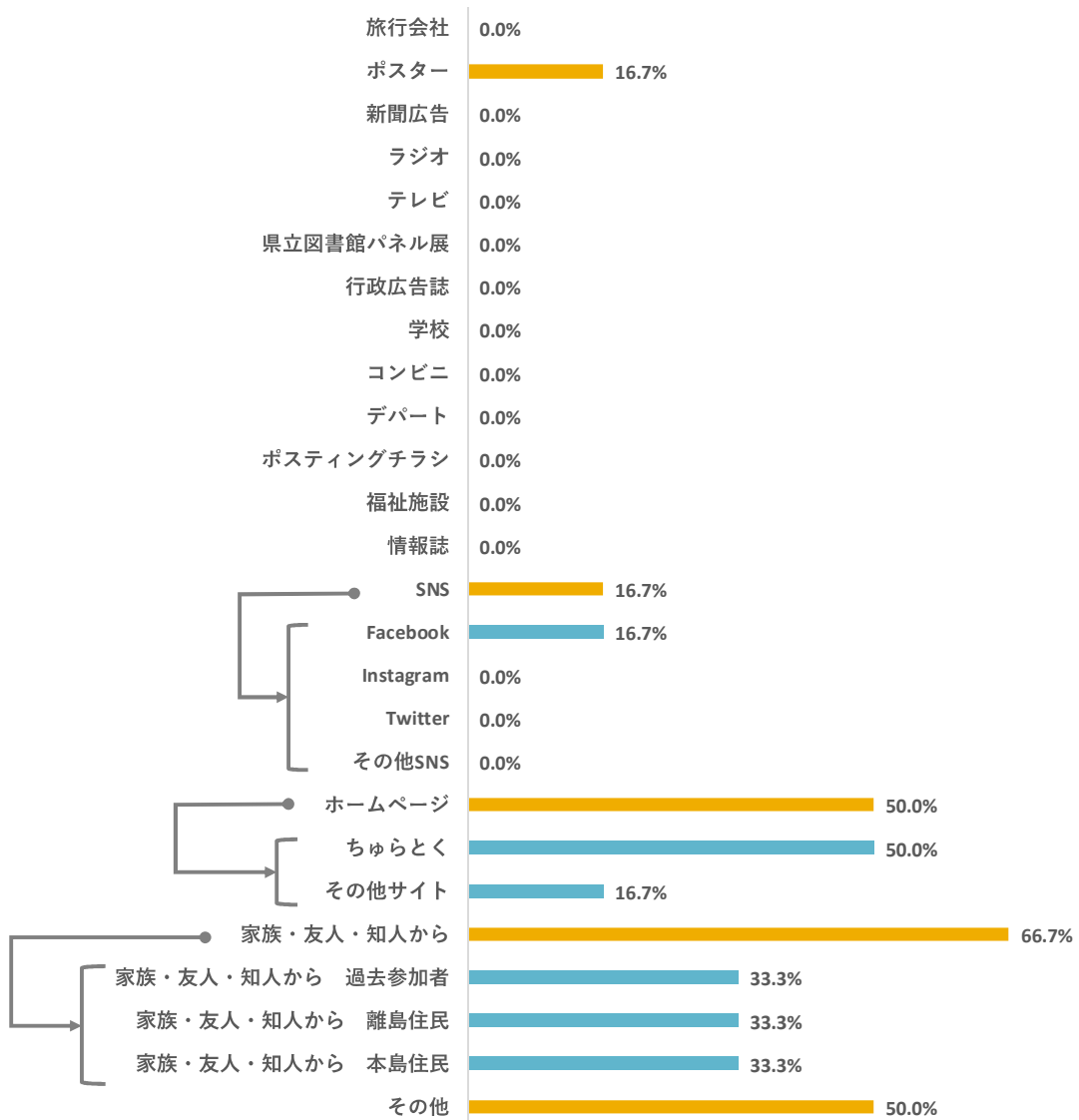
(2) 参加経緯

① ツアーへの参加理由 (複数選択)



N= 12

② 情報源 (複数選択)



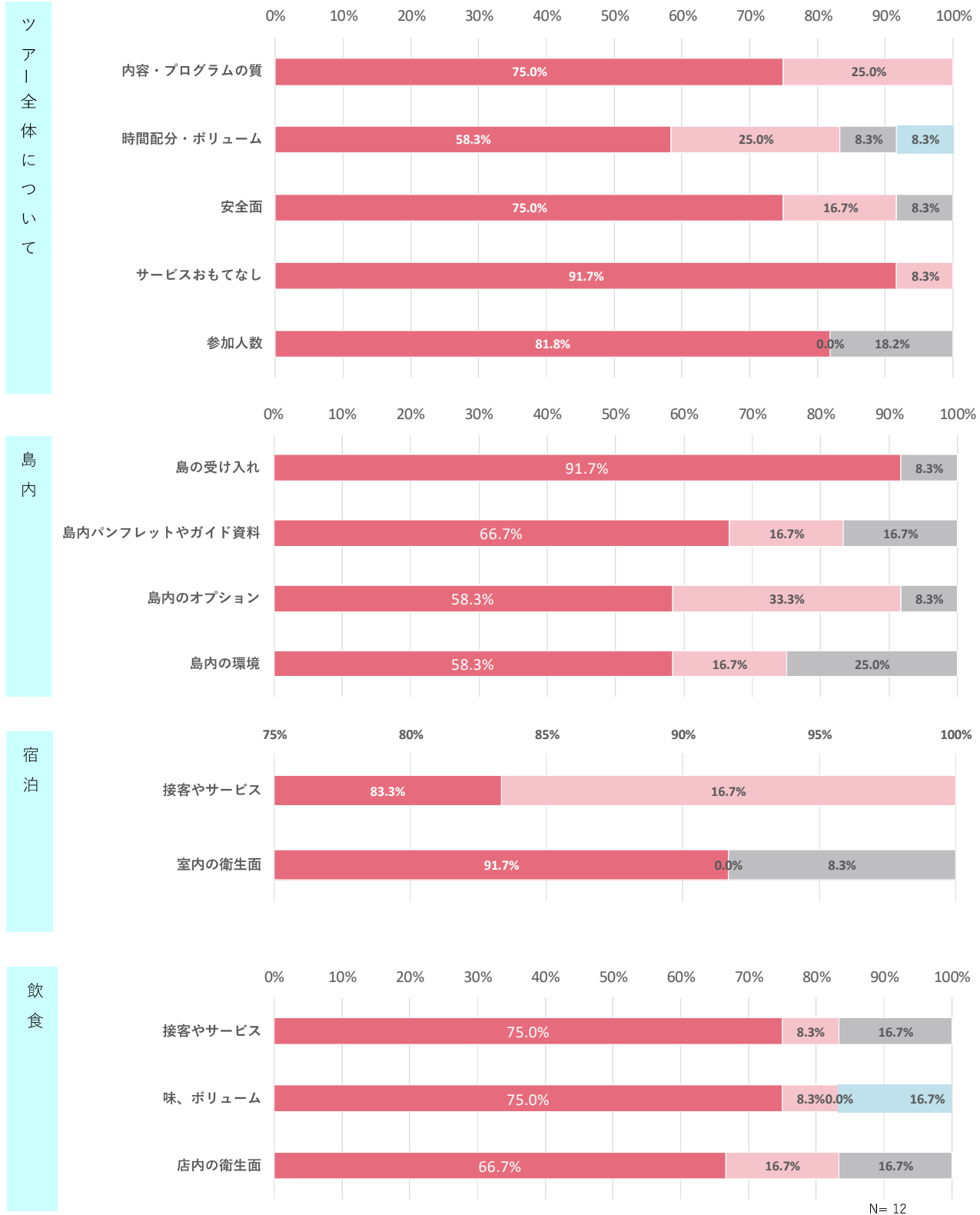
N= 6

第6章 各島実施報告

(3) ツアーや宿泊施設、島についての意見

① ツアーの満足度

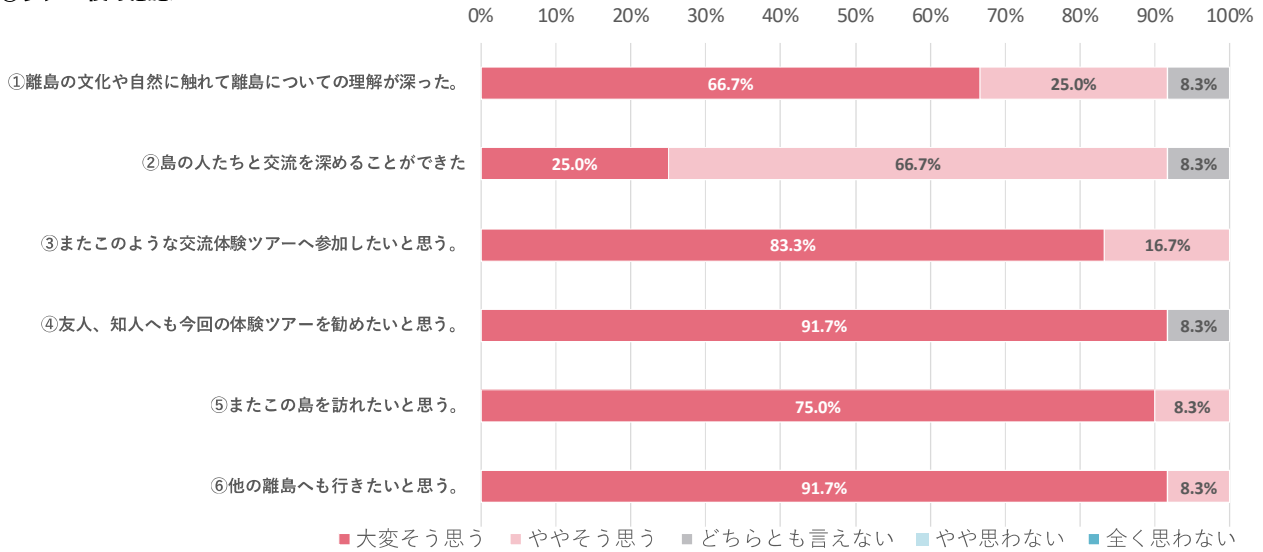
■ とても満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満



N= 12

第6章 各島実施報告

② ツアー後の感想



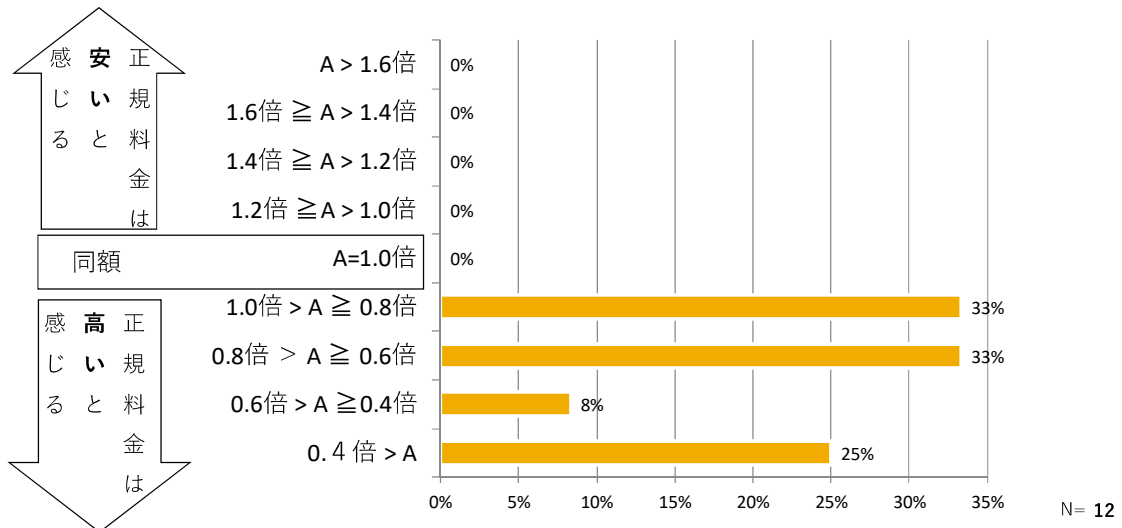
(4) 正規料金について

① あなたが考える妥当な料金（大人一人あたり）

区分	金額（円）
平均値	31,644
最大値	40,000
最小値	20,000

② 「妥当な料金／正規料金」の割合（A）の分布

（正規料金 中央値 41,250 円 ※変動するため参考値）



第6章 各島実施報告

(5) 支出について

一人当たりの支出金額

区分	平均支出額	最大支出額	最小支出額
合計	2,407	4,915	1,250
飲食費	1,483	2,000	750
娯楽費・入場費	—	—	—
交通費	—	—	—
土産物・買い物等	1,293	3,365	500
オプションプログラム	—	—	—
その他	—	—	—

第6項 総括

■ 島の声

夏は県外からの観光客で多忙となること、受け入れ事業者も少ないことから、1月から開始したモニターツアーは、最少催行人数未達になる事もなくすべてのツアーで安定した集客をする事が出来た。また、今年度は積極的に新しい体験プログラムを造成し、なるべくたくさんの参加者から意見をもらい、体験プログラムをブラッシュアップするよう心掛けた。今後は、新規事業者を巻き込めるかが一番の課題となる。

■ 参加者の声

- ・メインとなるホエールウォッチングが出来ない場合の代替プランを考えてくれていたので、安心してツアーに参加する事が出来た
- ・フリータイムが少ないので各々で自由に過ごせる時間を増やしてほしい
- ・コーディネーターやホエールウォッチングの船長やスタッフ、宿の方も対応が良く、とても暖かくおもてなしをしてくれて満足だった

■ 総括

新しく造成した体験プログラムに対し、改善すべきポイントは多々あったが、参加者の満足度は非常に高い結果となり、自走化に向けては一步前進出来た取り組みだった。また、受け入れ先の事業者が少ない中、事業内で実施したエコガイド講習では、今後の商品化に向けて講習参加者の意識を高めることが出来た。来年度は実際にモニターツアーの体験プログラムとして入れ込み、商品化する事を目標としていきたい。